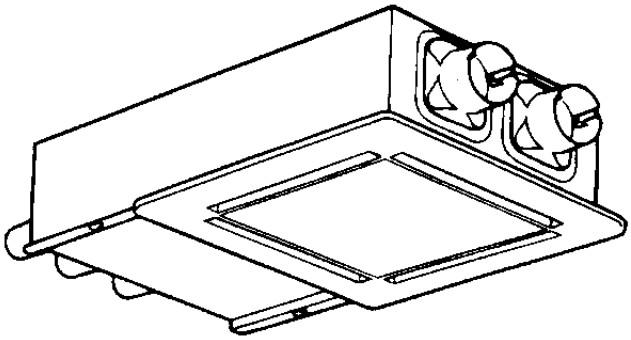
TOSHIBA

東芝熱交換気ユニット
取扱説明書 家庭用



形名
VFE-110KFP
VFE-130KFP

もくじ

安全上のご注意 ……2～3
特長 ……3
各部のなまえ ……4
使いかた ……4
お手入れのしかた ……5～6
お手入れ後の組立 ……7
つぎのことは必ず守ってください ……7
仕様 ……7
修理を依頼される前に ……8
ご不明な点や修理に関するご相談は……8

- このたびは東芝熱交換気ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を、安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 取付説明書を、販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

安全上のご注意

●取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●表示と、意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

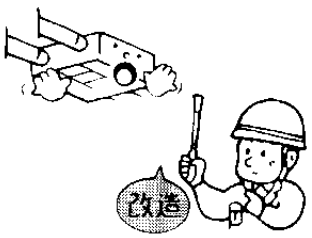
図記号の例

図記号	図記号の意味
改造禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「改造禁止」を示します。
電源を切る	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「電源を切る」を示します。

⚠警告

改造はしないこと

火災・感電・けがの原因になります。



改造禁止

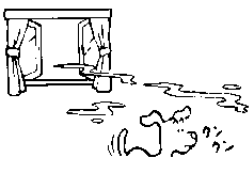
こげ臭い、煙がでているなど異常のときは、運転を停止し、電源ブレーカを「切」にすること

異常のまま運転を続けると、
火災・感電の原因になります。
※修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

電源を切る

可燃性ガスが漏れたときは、本体の運転・停止をしないこと

ガス爆発の原因になります。
可燃性ガスが漏れたときは、窓を開け換気してください。



運転・停止禁止

修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買上げの販売店、または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

分解・修理禁止

電気部品に、水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしないこと

漏電し、火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

お手入れのときは運転を停止し、電源ブレーカを「切」にすること

感電・けがの原因になります。

電源を切る

ぬれた手で、スイッチに触れないこと

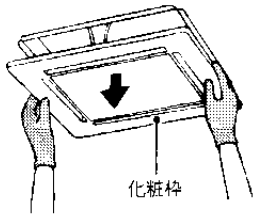
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

⚠注意

化粧枠・熱交換器などの部品は、確実に取り付けること

落下し、けがをする原因になります。



確実に取付ける

本体に、異常な振動が発生したときは、使わないこと

本体・部品が落下し、けがをする原因になります。

使用禁止

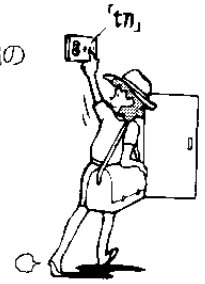
熱交換気ユニットの風が直接あたる所に燃焼機器を置かないこと

不完全燃焼による事故の原因になります。

風当て禁止

長期間、ご使用にならないときは、安全のため電源ブレーカを切ること

絶縁劣化による火災・感電の原因になります。



電源を切る

お手入れのときは、ゴム手袋を使うこと

けがをする原因になります。

手袋を使う

特　長

住宅と熱交換気ユニット

現在の住宅は気密性・断熱性が向上し、低エネルギーで快適な空間が得られるというメリットがあります。その反面、換気不足によって発生する室内空気の汚染・結露などが住まいを傷めたり、健康を害するカビ・ダニの発生にもつながります。

そこで、トータル換気システムが必要となります。

トータル換気システムとは…

リビングゾーン(居間・寝室・子供部屋・他)には熱交換した新鮮な外気を供給し、ダーティゾーン(台所・ユーティティなど)から集中排気をすることにより、1台で建物全体を効果的に換気するシステムです。

主な特長

1 強制同時給排なので **新鮮空気**

強制同時給排機能によって、きれいな外気を取り入れながら、汚れた空気を排出します。だから室内の空気は新鮮です。

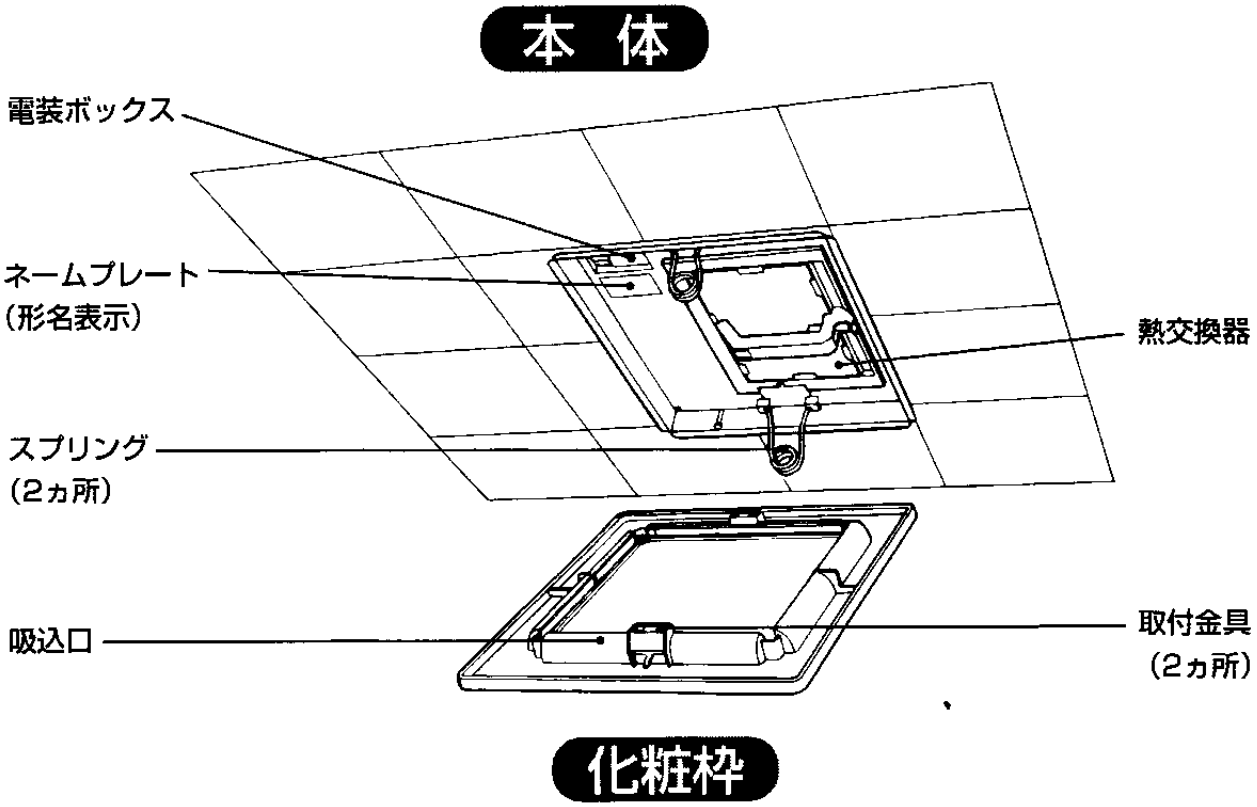
2 熱交換器の働きで **快適温度**

熱交換器の働きにより、外気を室温に近づけて給気しますので、暖かさ・涼しさを保ちながら換気します。

3 熱ロスが少ないから **省エネ**

室内の暖かさ・涼しさを保ちながら換気ができるので、冷暖房時の熱ロスが少なく冷暖房費も節約できます。

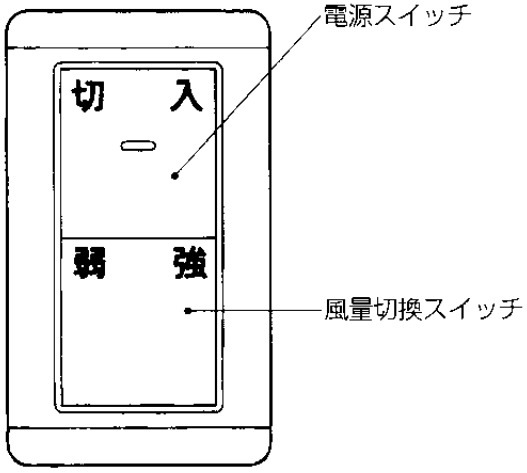
各部のなまえ



使いかた

この製品の運転は、壁スイッチで操作します。

運転・停止



※風量切換スイッチだけの場合もあります。

■運転するには
電源スイッチの右側を押して「入」にします。

■停止するには
電源スイッチの左側を押して「切」にします。

■風量を切り換えるには
風量切換スイッチの右側を押して「強」にします。
左側を押して「弱」にします。

建築基準法に定められた機械換気設備としてご使用の場合は運転を止めないでください。
長時間停止した場合、屋内環境が悪化し法律で定める基準をこえることがあります。

メモ ●使用初期に、熱交換器のにおいが出る場合がありますが、異常や有害ではありません。

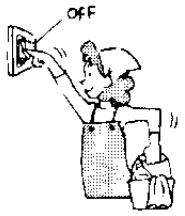
お手入れのしかた

お手入れの前に

⚠警告

お手入れのときは運転を停止し、電源ブレーカを「切」にすること

感電・けがの原因になります。

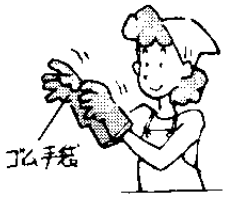


電源を切る

⚠注意

お手入れのときは、ゴム手袋を使うこと

けがをする原因になります。



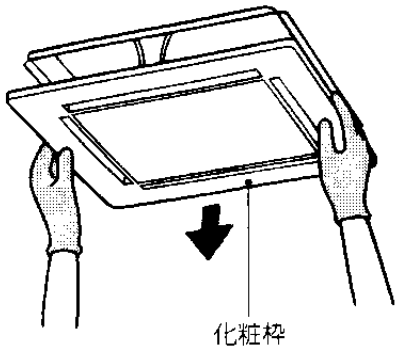
手袋を使う

●お手入れは台所用中性洗剤をご使用ください。

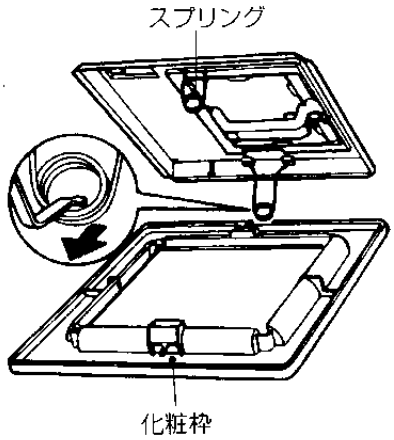
変質・破損の原因となります。

化粧枠のはずしかた

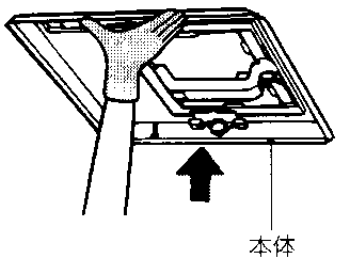
1 化粧枠が止まる位置までゆっくりと、真下へ引き下ろし、スプリングを固定します。



2 化粧枠を横にずらして、スプリングから化粧枠を外します。



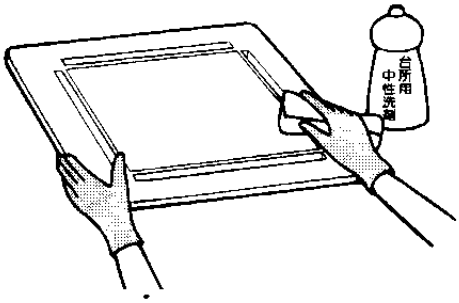
3 お手入れのとき、変形させないためスプリングは、本体内におし込んでください。



化粧枠のお手入れ

あまりよごれないうちに（3ヵ月に一度くらい）

●化粧枠は台所用中性洗剤溶液に浸し、よくしぼった布でふきとります。
洗剤が、残らないよう十分ふきとってください。
タワシなど固いものを使うと、きずがつきますのでおやめください。

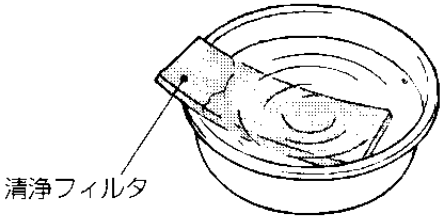


清浄フィルタのお手入れ

（6ヵ月に1回以上）

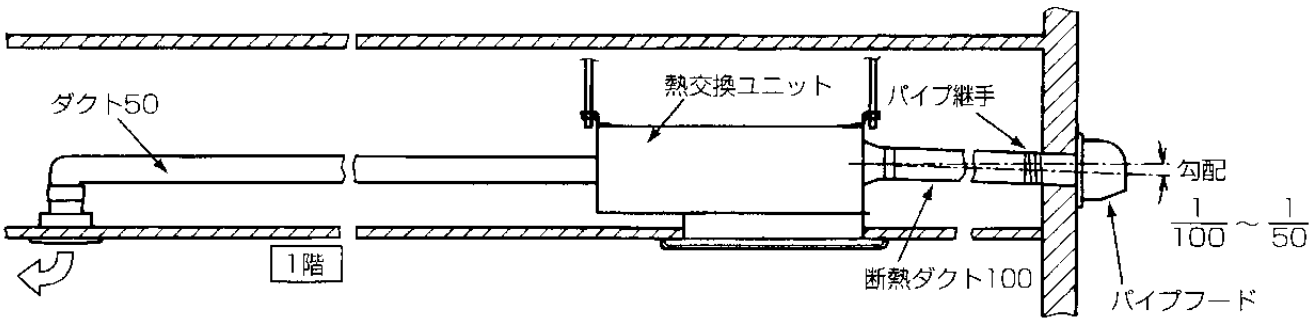
■清浄フィルタは、掃除機でホコリを吸い取ります。
よごれのひどいときは、水か、ぬるま湯に台所用中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水などで洗剤を流してから、十分に自然乾燥させます。熱湯で洗ったり、もみ洗いや、力を加えて曲げることは絶対にやめてください。

●押し洗い回数5～6回を目安に、交換用外気洗浄フィルター（F-110X）を交換してください。



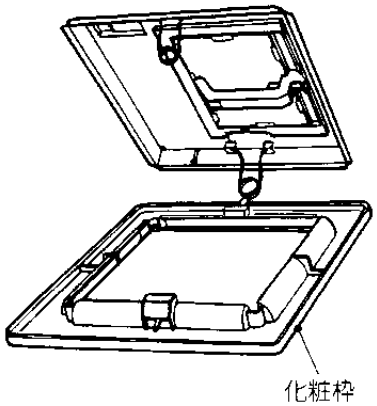
お手入れのしかた（つづき）

据付状態図

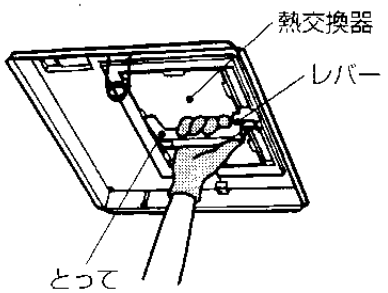


熱交換器・フィルタのはずしかた

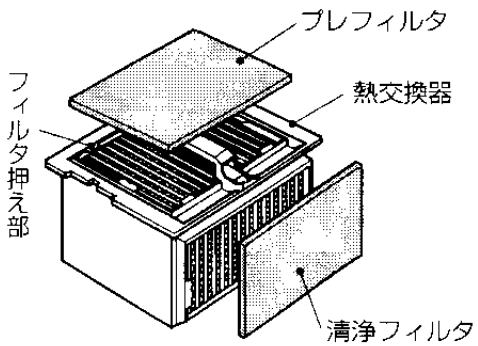
1 化粧枠をはずします。



2 熱交換器のとってをにぎり、人さし指で、とって内側のレバーを軽く押えながら真下へ引き出します。



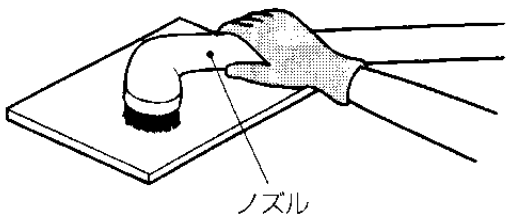
3 熱交換器から、プレフィルタと、清浄フィルタをはずします。
フィルタ押え部で、フィルタを軽くつまみ引きはがします。



プレフィルタのお手入れ

（6ヵ月に1回以上）

■掃除機により、プレフィルタの表面のごみ・ほこりを取ります。

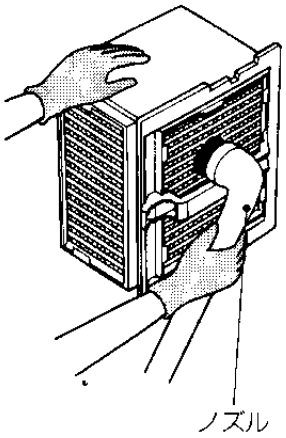


熱交換器のお手入れ

（1年に1回以上）

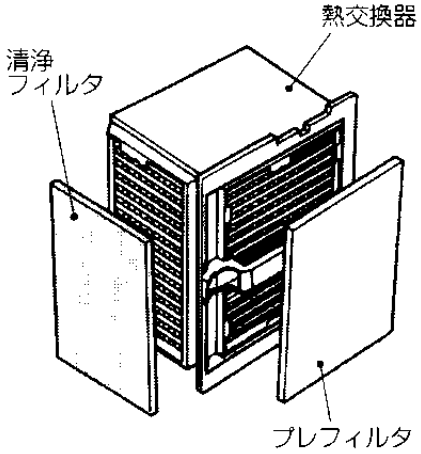
■掃除機により熱交換器の表面のごみ・ほこりを吸い取ります。

- 掃除機のノズルは、ハケ付きのものを使い、ハケを軽く当てて掃除してください。
  掃除機のノズルで熱交換器の目をつぶさないでください。
- 熱交換器は、紙ですので絶対に水洗いはしないでください。



お手入れ後の組立

熱交換器・フィルタの取り付けかた



● お手入れが、終わりましたら取り付けは、次の手順で行ってください。

1.プレフィルタと、清浄フィルタを熱交換器に取り付けます。
清浄フィルタは、熱交換器に確実に取り付けてください。

2.プレフィルタと、清浄フィルタを取り付けた熱交換器を、本体に取り付けます。
カチッと、音がするまでさし込みます。

3.化粧枠を、取り外した逆の順序で本体に取り付けます。

● 取り付けが終わりましたら運転して、異常な振動や騒音がないことを確認してください。

つぎのことは必ず守ってください

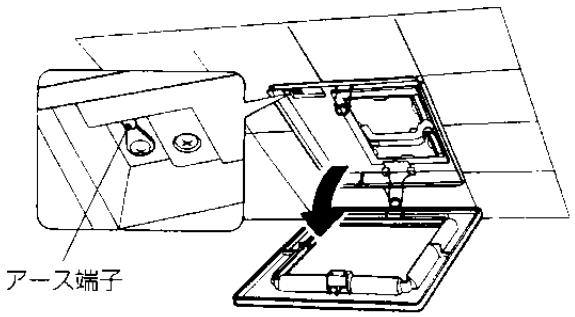
取り付け状態の確認

■換気扇が確実に取り付けられているか確認してください。

取り付けが、不十分ですと振動したり異常音を発生します。

■アースを確実に

使う前に、アース線が確実に取り付けられているか確かめてください。



取り付け場所・取り付けについて不具合があったときは、お買い求めの販売店または工事店へご相談ください。

お願い

- ●熱交換器・フィルタに、ほこりなどが多量に付着したまま運転しますと、機能低下を起こして故障の原因になります。
- ●ドライヤー、ストーブの温風など高温での乾燥はやめてください。フィルタが変形することがあります。
- ●火に、あぶることは絶対に行わないでください。
- ●プレフィルタ・清浄フィルタを入れ忘れると、熱交換器にごみが詰まり、使えなくなることがあります。
- ●モーターなどの電気部品は、掃除のとき絶対に水に浸さないでください。

仕様

(50Hz・60Hz共用)

形名	電圧(V)	強・弱	消費電力(W)		風量(m^3/h)		騒音(dB)		熱交換効率(%)		製品質量(kg)
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VFE-110KFP	100	強	35	39	110	110	32	32	60	60	11.0
		弱	26	26	70	70	26	26	70	70	
VFE-130KFP	100	強	50	55	130	130	35.5	35.5	58	58	11.0
		弱	38	39	94	94	29	29	64	64	

● 消費電力、風量（静圧0Pa時）、騒音の値は、JIS C9603の測定方法に準じます。

修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現　象	点　検
スイッチを、入れても風が出ない。	●ブレーカーが、切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
運転中に、異常音や振動がする。	●換気扇が、確実に取り付いていますか。 ●化粧枠が、本体に確実に取り付いていますか。 ●熱交換器が、確実に取り付いていますか。

● 上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店・工事店に点検・修理をご依頼してください。

※ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買いあげの販売店にご相談ください。

ご転居あるいはご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

つながるね 24時間 365日 はなせるね

新製品などの商品選び、
お取り扱い・お手入れなどのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

携帯電話・PHSからのご利用は　03-3426-1048
FAX　03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

修理を依頼されるときは

出張修理

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	熱交換気ユニット
形　名	VFE-110KFP, VFE-130KFP
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買上げ店名 ☎（　　）　　－

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

補修用性能部品の保有期間

●換気扇の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- ●スイッチを入れても羽根が回転しない。（風が出ない。）
- ●運転中に異常音や振動がする。
- ●回転が遅い、または不規則。
- ●こげ臭い、においがする。

ご使用中止

故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

東芝キヤリア株式会社　換気統括部

〒108-0075　東京都港区港南 2-12-32　サウスポート品川

本商品は、ご愛用終了時に、再資源化の一助として、主なプラスチック部材に材料名を表示しています。

ET99900101-⑤